

2018年4月～2019年3月までの事業概要に基づいた事業報告

【1】診療及び保健予防事業については全病院、診療所において実施しており、入院施設をもたない診療所は法人のネットワークを活用して入院先を確保し、入院治療を行った。4病院で協会けんぽの生活習慣病予防健診の受託医療機関であり、労働安全衛生法に基づく雇用者健診等を実施している。詳細は下記のとおりである。

事業分類	項目 / 年度		2018年度
医療介護活動1	外来	患者件数	478,757
		延患者数	700,063
		1日患者数	2,643
	訪問	看護延患者数	0
		1日患者数	0
	往診	訪問診療	29,546
		管理患者数	1,954
		在宅時医学総合管理	1,101
	入院	患者件数	23,458
		延患者数	295,870
1日患者数		815	
医療介護活動2 *再掲	透析	外来	15,324
		入院	2,384
	手術	全件数(内・全麻件数)	3,978 (1,775)
		外科	1,343 (1,029)
		整形外科	1,461 (499)
		産科	153 (1)
		婦人科	150 (95)
		耳鼻咽喉科	50 (38)
		眼科	481 (0)
		脳外科	0
		皮膚科	14 (0)
		内科	54 (0)
		泌尿器科	95 (19)
		その他検査等	177 (94)
		病理解剖検査数	20
	分娩	分娩件数	359
	労災	外来患者数	11,499
		入院患者数	526
	医療介護活動3	特診	整形外科
心臓			6院所/176人
眼科			3院所/137人
甲状腺			4院所/274人
振動病			0院所/0人
その他			3院所/328人(胃Fa等)
健診		成人病健診/特定健診	20,245
		母親教室	11回/113人
		安産教室	24回/169人
		被爆者健診	92
		乳児検診	645
		企業健診	11,543
		政府管掌健康保険健診	7,098
		学校健診	4,134
		学校健診(側わん)	402
		学校健診(耳鼻科)	556

【2】生活困難者のための、無料又は低額な料金で診療等を行う事業については、全ての病院・診療所で行なった。法人全体では、生活保護と無料・低額診療の患者の合計が総患者数の17.0%である。詳細は下記のとおりである。

(2) 無料低額診療のとりくみ

院 所		2018年度					
		(2018年4月～2019年3月)			再掲件数		
		件数	日数	減免金額	新規	就援	
1 中央病院	入院	222	5,794	24,432,148	120	14	
	外来	517	4,028	17,788,446	154	91	
	小計	599	9,822	42,220,594	212	93	
10条クリニック		86	675	1,517,300	21	14	
2 札幌病院	入院	62	1,535	5,478,850	35	5	
	外来	594	5,192	13,533,360	224	196	
	小計	616	6,727	19,012,210	243	128	
こども診療所		0	0	0	0	0	
3 西区病院	入院	43	3,144	6,988,510	27	1	
	外来	77	458	1,069,260	26	17	
	小計	111	3,602	8,057,770	49	18	
ひだまりクリニック		89	611	1,789,740	31	16	
4 苫小牧病院	入院	34	1,873	5,528,834	13	0	
	外来	354	2,562	6,234,190	148	74	
	小計	365	4,435	11,763,024	123	74	
5 ぽぷらクリニック		72	506	1,235,419	23	3	
6 札幌クリニック		14	110	359,570	5	0	
7 月寒ファミリークリニック		43	155	673,950	13	15	
8 平和通クリニック		32	232	588,650	7	5	
9 もみじ台内科		19	176	474,520	13	2	
10 みなみ診療所		16	123	269,360	5	3	
11 当別診療所		17	184	804,390	3	1	
12 小樽診療所		61	594	1,928,450	14	5	
13 余市診療所		31	290	419,320	3	0	
14 黒松内ブナの森診療所	入院	23	480	777,570	4	0	
	外来	110	1,436	2,549,270	89	0	
	小計	111	1,916	3,326,840	73	0	
15 室蘭診療所		27	196	471,710	5	0	
16 厚賀診療所		30	374	646,660	4	0	
17 浦河診療所		85	1,015	1,739,584	13	13	
18 神威診療所		20	208	840,660	1	0	
19 上砂川診療所		25	324	952,970	2	0	
20 芦別診療所	入院	5	116	347,620	2	0	
	外来	23	201	746,990	4	0	
	小計	24	317	1,094,610	5	0	
21 老健柏ヶ丘		介護	4	246	590,054	4	0
合 計	入院	389	12,942	43,553,532	201	20	
	外来	2,342	19,650	56,633,769	808	455	
	介護	4	246	590,054	4	0	
	総計	2,497	32,838	100,777,355	872	390	

*総計件数は1人が入院・外来と両方で利用された場合は1件とする

2018年度 無料低額診療 統計

1. 保険	2018年度	
	件数	構成比
国保	1,333	53%
短期保険証	40	2%
資格証明証	14	1%
社保本人	317	13%
社保家族	333	13%
任意継続	7	0%
後期高齢者	411	16%
生保申請前	1	0%
介護保険	4	0%
無保険	37	1%
その他	0	0%
合計	2,497	100%

5. 年代	2018年度	
	件数	構成比
00代	119	5%
10代	128	5%
20代	98	4%
30代	245	10%
40代	321	13%
50代	381	15%
60代	596	24%
70代	354	14%
80代以上	255	10%
計	2,497	100%

2. 適用区分	2018年度	
	件数	構成比
1.無料診療	52	2%
2.一部負担金の10割免除	2,368	95%
3.一部負担金の一部免除	77	3%
合計	2,497	100%

6. 世帯	2018年度	
	件数	構成比
独居	770	31%
2人世帯	770	31%
3人世帯	371	15%
4人世帯	324	13%
5人以上世帯	262	10%
計	2,497	100%

3. 申請理由	2018年度	
	件数	構成比
1.低所得	1,728	69%
2.失業・倒産	100	4%
3.ホームレス	7	0%
4.病弱	17	1%
5.DV被害者	2	0%
6.外国人	28	1%
7.人身取引被害者	0	0%
8.就学援助世帯	509	20%
9.その他	106	4%
合計	2,497	100%

4. 性別	2018年度	
	件数	構成比
男性	1,162	47%
女性	1,335	53%
計	2,497	100%

【3】 第一種助産施設の運営については、札幌市内 5 箇所の病院の一つとして、経済的困難が理由で出産費用を準備できない方の分娩を取り扱った。入院施設のない市町村からも受け入れを行った。2018 年度は 359 件を取り扱った。同病院は小児科の入院施設も有しており、疾病や障害のある新生児の一時対応を行い、周産期医療の一端を担っている。

【4】 救急医療については、中央病院が 2 次救急指定病院に参加し、2018 年度 7,936 台の救急車を受け入れた。札幌病院は救急医療体制における小児科に関わる輪番制に参加する医療機関として継続している。

【5】 休日・夜間等の医療の供給については、4 病院 9 診療所が夜間休日当番病院の輪番制に参加し、休日や夜間の医療供給を行った。また、2 病院・16 診療所において夜間診療を行い、日中の通院が困難な方の受診機会を確保した。

- 【6】災害医療については、中央病院が丘珠空港事故救急対応病院、札幌市の災害時基幹病院となっている。東日本大震災後の医療支援に継続的に医療従事者の派遣を行った。2018年度は医師を1回派遣した。延べ派遣日数は2日間である。
- 【7】へき地医療については、厚賀診療所が引き続き北海道のへき地診療所に指定されている他、北海道緊急臨時的医師派遣事業に参加し、平取町国民健康保険病院へ医師を派遣した。
- 【8】難病者に対する継続的な医療については、財団法人北海道難病連が行なっている北海道からの委託事業「難病医療・福祉相談会」に継続的に医師を派遣している。
- 【9】卒後臨床研修指定病院の取り組みについては、1997年より臨床研修病院の指定を受けており、2018年度は14名の初期研修医の受け入れを行った。中央病院が基幹型となり、札幌病院・西区病院・苫小牧病院など9病院で協力型、診療所など24施設が協力施設となっており、北海道における医師養成の一翼を担っている。
- 【10】介護及び介護予防事業として老人保健施設柏ヶ丘を運営しており、2018年度の入所者数は延べ26,742人、短期入所の入所者数は延べ2,190人。病院での入院治療と在宅療養を橋渡しし、切れ目のない一体的なサービスを提供した。認知症対応型通所介護と通所リハビリテーションの2018年度延べ利用者は、それぞれ2,397人、14,894人である。当法人の老人保健施設では、社会福祉法に基づく生計困難者に対して、無料または低額な費用で介護老人保健施設を利用させる事業を行なっている。また、低所得者でも入所できるよう、保険の効かない利用料の部分の部分を低く設定している。2018年度は生活保護受給者と無料・低額診療の利用者を合わせると、入所者の9.2%である。
- 【11】病後児デイサービス事業については札幌病院に附設して札幌市の子育て支援事業である病後児デイサービス事業を勤医協菊水こどもデイサービスセンターで運営している。2018年度は延べ465人の児童が利用した。
- 【12】衛生検査所の設置については、病理検査を扱っており、手術中の迅速病理診断も行い臨床機能の一部となっている。病理科の医師と研修医が合同で臨床病理カンファレンスを行い、臨床研修病院の機能を補完している。
- 【13】健康予防に関する知識の普及、啓蒙活動については、すべての病院・診療所で地域住民を対象とした無料の健康相談会を開催し、健康教育や保健予防の知識の普及、医療相談などを行った。2018年度は481回実施し、7,624人が参加した。内容は病気の予防、治療法、医療制度の理解の促進などである。講師は、医師、看護師、リハビリ技士、栄養士などの医療技術者やソーシャルワーカーが務めた。
- 【14】医療・福祉に関する調査研究については、日常の診療で得られた知見や独自の調査活動の成果をまとめ学会や研究会などで発表を行った。大学病院や医学部での先端研究と異なり、患者の生活や労働と疾病の関係、生活の質（QOL）の向上のためのケアなどを研究の対象としている。勤医協医学雑誌や、勤医協看護雑誌も発行し、研究活動の成果を広く普及すると共に後継者の教育に活用した。研究にあたっては、患者の人権を尊重し、医療・生命の倫理を重視している。